

特定非営利活動法人日本顎変形症学会 認定医制度に対する パブリックコメントの募集について

平成 29 年 4 月 1 日

日本顎変形症学会 理事長 小林正治

日本顎変形症学会認定医制度検討委員会

委員長 横江義彦

はじめに

平素は本学会の運営ならびに学術活動に対してご高配を賜り、会員諸氏には厚く御礼申し上げます。

さて、本学会では平成 20 年より認定医制度の制定に向けて検討を重ねて参りましたが、この度、今後の制度施行にあたり会員からパブリックコメントをいただくこととなりました。これまでの経緯を簡単にご説明しますと、認定医制度検討委員会の前委員長、森山啓司先生のもと平成 20 年に実施されました本学会評議員へのアンケート調査では、学会として認定医制度を制定すべきであるとするご意見が 63.4%、検討すべきではないというご意見が 3.1%でした。本アンケート結果の概要に関しては、第 19 回日本顎変形症学会総会「認定医制度ならびに診療ガイドラインに関するシンポジウム」（平成 21 年 6 月 4 日開催）において報告されました。その後、当委員会では現在まで認定医制度の設計に向けて検討を進め、委員会ならびに小委員会委員の総意として資格要件の策定（平成 26 年 11 月、参照資料）に努めました。さらに認定医に求められる診療レベルと資格要件の詳細を詰めるため、再度、評議員に向けて平成 28 年 3 月にアンケート調査を実施しました。主なアンケート内容は評議員のおられる施設での外科的矯正治療症例数の実態調査、診療体制、認定研修施設指定の必要性についてです。以下にその結果の概要を示します。

① アンケート回収率	63 施設、67 診療科（80.7%）
② 症例数／年	一施設あたり 平均 50.6（人）／年
③ 認定医単体制	賛同 58 施設（92%）
④ 矯正歯科治療担当	主治医ひとり 15（施設）、複数名で担当 15（施設）
同上 5 年間の担当数	ひとりで担当 平均 34.3（人） 複数名で担当 平均 17.7（人）
同上新たな研修施設の認定	必要 16（施設）、不要 16（施設）
⑤ 口腔外科手術担当	執刀医ひとり 4（施設）、複数名で執刀 35（施設）
同上 5 年間の担当数	ひとりで執刀 平均 150.0（人） 複数名で執刀 平均 79.2（人）
同上手術分担	すべて執刀 6（施設）、上下それぞれ 10（施設）、 下顎片顎 15（施設）
同上新たな研修施設の認定	必要 25（施設）、不要 12（施設）

以上

(参照資料)

日本顎変形症学会 認定医制度検討委員会委員による認定医資格要件についての討議
(2014年11月10日実施)

総論

- 1) 本学会の認定医制度は学会独自のものとして認定医で発足すべき。
- 2) 指導医および指定研修施設の必要性については、外科側は認定医、指導医、研修施設を同時に認定するが、矯正側では新たに研修施設は設けない。
- 3) 連携医療機関の明示、協力症例の呈示などの要件が必要である。
- 4) 前問3) について、具体的にはどのような要件が望ましいか。
 - ・保険診療が可能な施設基準を満たす医療機関との連携が取れていること
 - ・単独施設で完結できる場合はそれで可
 - ・矯正歯科と手術を実施する施設の担当医との連携、治療方針に納得した上で患者説明できる環境にあること

各論

① 各分野共通の認定医資格要件

- 1) 基幹・基礎となる学会（日本矯正歯科学会、日本口腔外科学会・日本形成外科学会）の専門医・認定医等の取得を前提条件とすべき。

2) **教育研修会や学会総会への出席、発表、論文執筆等による単位制を採用する。**

3) 前問2) の具体的な単位の付与について	平均値	試案
・本学会主催の教育研修会	(21.4) 単位	20
・本学会総会・学術大会出席	(21.4)	20
・本学会発表		
: 筆頭発表者	(12.1)	12
: 共同発表者	(5.7)	6
・本学会論文		
: 筆頭著者	(24.3)	25
: 共著者	(8.6)	10
・本学会主催以外の研修会・レクチャー等§	(4.3)	5
・本学会以外の学会発表§		
: 筆頭発表者	(6.4)	8
: 共同発表者	(2.9)	4
・本学会以外の論文§		
: 筆頭著者	(10.7)	10
: 共著者	(4.3)	5
・その他（顎変形症にかかわる講演など）	(2.1)	5

§：いずれも顎変形症に関連するものに限る

4) 認定医資格申請の要件	平均値	試案
1. 学会会員歴	6.1 年	6 年
2. 臨床経験年数	7.3 年	8 年 (臨床研修期間含む)
(臨床経験年数についてはその後、矯正歯科は 5 年と試案修正)		
3. 診療実績報告書	30.0 例	30 例
(経験症例数についてはその後、矯正歯科は 5 例と試案修正)		
4. 症例記録	15.0 例	15 例

5) ①矯正歯科分野と②口腔外科・形成外科分野に分けた小委員会を設置してさらに討議を進める。

② 矯正歯科分野での要件

1) 日本矯正歯科学会認定医・専門医・指導医資格を有する方には、前記の資格申請の要件を満たし共通要件の単位を満たせば認定する、ということでしょうか？

1. それでよい (40.0%)
2. 検討が必要 (60.0%) …その他の学会の専門医資格者にも取得の機会を設けるべき

③ 口腔外科・形成外科分野での要件

1) 日本口腔外科学会認定医・専門医・指導医資格を有する方には、前記の資格申請の要件を満たし共通要件の単位を満たせば認定する、ということでしょうか？

結論) 認定医を除外して、専門医、指導医に限定すべき。

2) 他の口腔外科関連学会にて資格を有しておられる方への対応措置

結論) 必要ない。

3) 認定医資格取得に際して新たな実地審査

結論) 必要ない。

4) 日本頭蓋顎顔面外科学会専門医資格を有する方には、前記の資格申請の要件を満たし共通要件の単位を満たせば認定する、ということでしょうか？

結論) それでよい。

以上

パブリックコメントの要旨

本学会認定医制度検討委員会ではパブリックコメントとして、広く学会員の皆様のご意見をいただきたいと考えております。

前回の評議員へのアンケート結果、認定医制度検討委員会および小委員会委員の認定医資格についての意識調査、さらに今回のアンケート結果を根拠として、以下の制度設計試案についてご意見を願います。

なお、理想的な将来像としましては顎変形症学会学術委員会、ガイドライン策定委員会とも連携し、学会として認める外科的矯正治療のスタンダードを定め、これを認定医申請の教科書として採用することも検討しております。

1. ご意見募集期間： 平成 29 年 4 月 18 日～5 月 31 日まで（必着）
2. 提出方法： ご意見は選択肢のある項目については番号を付し、コメント記入欄のあるものについてはそれぞれ直接本状に記入して、電子メールに添付して提出してください。
3. 注意事項： 提出いただける方は本学会会員に限ります。また氏名、所属等の記入のない場合はご意見として採用しません。
氏名および所属の名称、代表者の氏名ならびにご連絡先（電話番号または電子メールアドレス）を明記してください。ご提出意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認のため利用させていただきます。
また、お寄せいただいたご意見の内容については、氏名および所属その他の連絡先を除き、公表させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

認定医に求められる要件について（すべて試案です）

氏名		顎変形症学会 会員番号	
所属			
メールアドレス	@	電話番号	() -

1) 本学会会員歴について：

5年（口腔外科・形成外科、矯正歯科共通）

ご意見 1. 適当である

2. 短い （具体的には___年）

3. 長い （具体的には___年）

2) 臨床経験年数：

口腔外科・形成外科は8年以上（臨床研修期間含む）

ご意見 1. 適当である

2. 短い （具体的には___年）

3. 長い （具体的には___年）

矯正歯科は5年以上

ご意見 1. 適当である

2. 短い （具体的には___年）

3. 長い （具体的には___年）

3) 認定試験：

（口腔外科・形成外科）基本学会である日本口腔外科学会、日本形成外科学会、いずれかの専門医資格を持つことを前提とした口頭試問による認定試験とし、口頭試問に先立って知識確認の筆記試験を行う。それぞれの学会の専門医資格を持たない者は、専門医試験に替わるものとしての実地試験を課す。（複数回答可）

ご意見 1. それでよい

2. 基本学会の専門医資格は不要である

3. 口頭試問は不要である

4. 筆記試験は不要である

◎ (矯正歯科) 日本矯正歯科学会の認定医資格がある場合は症例を提示(書類審査)して筆記試験と口頭試問とする。認定医資格を有しない場合は日本矯正歯科学会の認定医審査に準じた矯正歯科診療能力検定試験を行い、その後顎変形症に関する症例呈示、筆記試験、口頭試問を行う。(複数回答可)

- ご意見
1. それでよい
 2. 日本矯正歯科学会の認定医資格は不要である
 3. 口頭試問は不要である
 4. 筆記試験は不要である
 5. 症例審査は不要である

4) 研修施設の申請条件:

(口腔外科・形成外科)

◎ 年間 30 例以上の症例数があること

- ご意見
1. それでよい
 2. 厳し過ぎる (具体的には__例)
 3. 少な過ぎる (具体的には__例)

◎ 施設開設後 1 年以上経過しており、指導医が在籍していること

- ご意見
1. それでよい
 2. 指導医が不在でもよい
 3. その他

コメント欄

◎ 矯正歯科との連携については証明書式の提出が必要

- ご意見
1. それでよい
 2. 連携は必要だが証明書式は不要
 3. 連携は不要
 4. その他

コメント欄

(矯正歯科)

◎ 顎口腔機能診断料算定の指定機関であることを条件として、日本矯正歯科学会が指定する基本研修・臨床研修施設(歯科大学)または臨床研修施設であれば新たな研修施設の指定は行わない

- ご意見
1. それでよい
 2. 別途、指定すべきである

5) 診療実績報告書：

(口腔外科・形成外科)

◎ 申請直近の5年間で30例(ただし代表的な必須術式に関しては最低限の症例数を設定し、
試案としてSSRO10症例、Le Fort I型5例以上とする：検討中)

ご意見 1. それでよい

2. 30例は厳し過ぎる (具体的には__例)

3. 30例は少な過ぎる (具体的には__例)

4. 最低限の必須術式は設定しない

(矯正歯科)

◎ 申請直近の5年間で5例

ご意見 1. それでよい

2. 厳し過ぎる (具体的には__例)

3. 少な過ぎる (具体的には__例)

(共通)

◎ 別に定める指導医は口腔外科・形成外科、矯正歯科とも2倍の経験数とする

ご意見 1. それでよい

2. 厳し過ぎる (具体的には__倍)

3. 少な過ぎる (具体的には__倍)

4. 指導医の認定は不要である

6) 実績(経験症例)の内訳：

(口腔外科・形成外科)

◎ 実績のレベルとして以下のいずれをカウント対象とすべきか(複数選択可)

ご意見 1. すべてを執刀した症例

2. 上下顎それぞれの執刀を別個にカウント

3. 下顎の片顎執刀でもカウント

4. 指導医は認定医取得予定者の指導症例もカウント

5. その他

コメント欄

(矯正歯科)

◎ すべて自験例であることが望ましいが、担当医制か否か、施設間の差が大きい(複数選択可)

ご意見 1. すべて自験例

2. 複数名での担当医制でよい

3. 治療に何らかの関与をした症例でよい

4. 指導医は認定医取得予定者の指導症例もカウント

5. その他

コメント欄

7) 認定単位制について：

現在、当委員会では「顎変形症学会の認定医に求められるのは最低レベルの知識を持っていることであり、認定医は症例数だけにこだわらない。そこで顎変形症治療に関する知識として学会が求めるラインを定めて、若手を育てるための教育研修会、学術講演会、論文等による単位制を重視すべきである」と考えております。学術委員会とも連携して付与する単位の合理性、資格申請に要する単位数、単位を認める期間、単位として認める雑誌等につき検討中ですが、以下に単位数についてのみ当委員会の試案をお示しします。なお、() は当委員会委員の認定医資格要件についての意識調査の平均値です。(複数回答可)

◎ 本学会主催の教育研修会 20 単位 (21.4)

ご意見 1. 適当である

2. 少ない (具体的には__単位)

3. 多い (具体的には__単位)

◎ 本学会総会・学術大会出席 20 単位 (21.4)

ご意見 1. 適当である

2. 少ない (具体的には__単位)

3. 多い (具体的には__単位)

◎ 本学会発表 : 筆頭発表者 12 単位 (12.1)
: 共同発表者 6 単位 (5.7)

ご意見 1. 適当である

2. 筆頭が少ない (具体的には__単位)

3. 筆頭が多い (具体的には__単位)

4. 共同が少ない (具体的には__単位)

5. 共同が多い (具体的には__単位)

◎ 本学会論文 : 筆頭著者 25 単位 (24.3)
: 共著者 10 単位 (8.6)

ご意見 1. 適当である

2. 筆頭が少ない (具体的には__単位)

3. 筆頭が多い (具体的には__単位)

4. 共著が少ない (具体的には__単位)

5. 共著が多い (具体的には__単位)

◎ 本学会主催以外の研修会・レクチャー等§ 5単位 (4.3)
§ : いずれも顎変形症に関連するものに限る

ご意見 1. 適当である

2. 少ない (具体的には__単位)

3. 多い (具体的には__単位)

◎ 本学会以外の学会発表§ : 筆頭発表者 8単位 (6.4)
: 共同発表者 4単位 (2.9)
§ : いずれも顎変形症に関連するものに限る

ご意見 1. 適当である

2. 少ない (具体的には__単位)

3. 多い (具体的には__単位)

◎ 本学会以外の論文§ : 筆頭著者 10単位 (10.7)
: 共著者 5単位 (4.3)
§ : いずれも顎変形症に関連するものに限る

ご意見 1. 適当である

2. 少ない (具体的には__単位)

3. 多い (具体的には__単位)

◎ その他 (顎変形症にかかわる講演など) 5単位 (2.1)

ご意見 1. 適当である

2. 少ない (具体的には__単位)

3. 多い (具体的には__単位)

以上です。ご協力ありがとうございました。